

警戒レベルと避難行動(洪水・土砂災害)

警戒レベル	避難情報の種類	取るべき行動
5	緊急安全確保	すでに災害が発生中 命を守る最善の行動を！
4	避難指示	全員避難 速やかに安全な場所に避難
3	高齢者等避難	避難に時間を要する人は、 安全な場所に避難を開始
2	—	避難に備える ハザードマップで避難行動を確認
1	—	災害への心構えをしましょう

ポイント

①災害の種類・大きさ、自宅のある場所、避難場所に行くまでにかかる時間を考慮して、避難開始のタイミングを決める(左の警戒レベルを目安に)

②夜間や避難に支援が必要な方がいる場合は、早めの避難を検討

避難情報や気象情報、前兆現象をもとに、避難するタイミングを決めましょう。

STEP3
いつ逃げる？

5つのステップで
マイ避難カードを
作ってみよう！

自宅にある紙でOK
下のカードを
参考を書いてみよう



- 1 危険性を知る
- 2 情報を集める
- 3 いつ逃げる？
- 4 どこへ逃げる？
- 5 どのように逃げる？

2つ目が「マイ避難カード」です。災害の危機が迫っているときに、「いつ」「どこに」「どのように」避難するかを自分で記入し、前もって自分自身で確認、点検してまとめておくことで、災害時の避難行動に役立てられます。

備え ②
マイ避難カードを
作ってみよう

ポイント

①被害の可能性のあるエリアを避けたルートを考えておく

②車で移動の場合、冠水などの危険を考慮し早めに避難する(徒歩移動を心がける)

③単独での行動は避け、身近に避難支援が必要な方がいる場合、一緒に逃げられるようあらかじめ話し合っておく

誰とどのようにして避難するのか、昼と夜それぞれの場合を考えましょう。

STEP5
どう逃げる？

ポイント

④安全な場所にいる場合、無理して避難場所に行く必要はありません

待避・状況や安全を確認し、今いる場所にとどまる

ポイント

①避難場所はいくつかの候補を考えておく

②昼と夜に分けて逃げる場所を考える

③避難行動は3つ

水平避難・安全を確保できる場所へ移動
垂直避難・建物の2階以上の安全を確保できる場所へ移動
待避・状況や安全を確認し、今いる場所にとどまる

ハザードマップ(P.45~46)を確認し、災害想定区域外の避難所や親戚・知人家など安全な場所へ避難を検討しましょう。

STEP4
どこへ逃げる？



マイ避難カード

※加西市防災ハザードマップの裏表紙に書き込めます

家族の避難カード(マイ避難カード)		コピーをして、会社(学校)用のマイ避難カードとしても使用できます。	
自宅の状況	浸水想定 (例:0.5m~3.0m)	土砂災害 (例:土砂災害警戒区域内)	南海トラフ地震時の震度 (例:震度6弱)
避難判断材料の入手方法	確認 (例:TV(NHK)、かさい防災ネット)	逃げ時	仮にかつたら (例:警戒レベル3発令時)
避難先	昼(外が明るい時) 夜(外が暗い時)	(例:<洪水時>〇〇小学校、□□さんの家 <地震時>〇〇公園 (例:<洪水時>自宅の2階、△△公民館の2階 <地震時>隣の部屋)	
避難する方法	昼(外が明るい時) 夜(外が暗い時)	(例:隣の××さんに声をかけて一緒に車で小学校に、徒歩で□□さんの家へ (例:非常持出品・貴重品を持って2階に移動、徒歩で近くの公民館へ)	
家族の連絡先	名前	生年月日	血液型
			連絡先(勤務先・学校など)
			携帯電話番号

ポイント

①洪水浸水・土砂災害の種類ごとに、チェックする

②用・排水路のつまりによる浸水の事例があります。自宅付近、避難経路上に危険がないかを確認する

お住まいの地域や自宅の状況によって避難行動は異なります。「加西市防災ハザードマップ」(P.5~32)を見て、どのような危険性があるのかを確認しましょう。ハザードマップには、市内で想定される災害のハザードマップと災害対策を掲載しています。※冊子は、令和3年3月に各ご家庭へお配りしています。

STEP1
危険性を知る



加西市防災
ハザードマップ

※危機管理課でも配布中



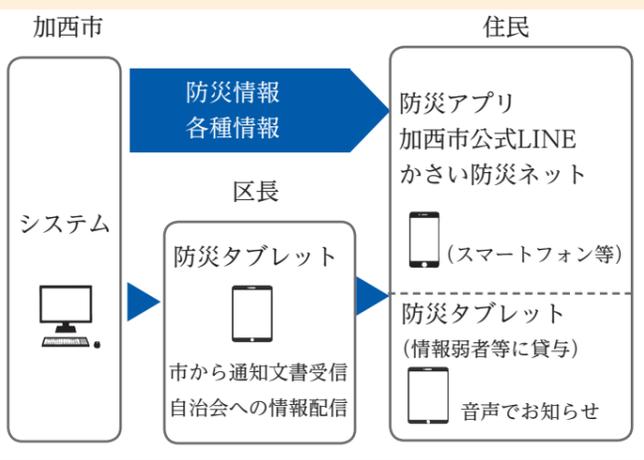
完成!

完成したカードは
目につきやすい
冷蔵庫などに貼っ
ておこう!

防災情報を
もつと受け取りやすく

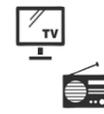
加西市では、防災情報を含む、市や自治会からの情報伝達をスムーズに出来るシステムの準備をしています。新しいシステムでは、ご自身のスマートフォンにアプリを導入することで、防災だけでなく市や自治会内行事などの情報を確認出来るようになります。

令和6年度にご利用いただけるよう準備を進めています。また、スマートフォンをお持ちでない方や利用に慣れていない方も、安心して使える体制を整えているところです。詳しい内容は準備が整い次第、広報などを通じてご案内します。



<情報伝達システムのイメージ>

主な「避難情報」の入手先



テレビ・ラジオ
テレビのデータ放送では、避難情報や避難所開設情報を確認できます



ひょうご防災ネット(アプリ)
防災情報がプッシュ通知で届きます。避難場所の確認やマイ避難カードの作成もできます



かさい防災ネット
災害や事件などの緊急情報が、携帯電話や、パソコンから見られます。メールアドレスを登録するとメールで情報が届きます



ポイント

○身の回りに土砂災害や水害の前兆となる現象が起きていないか注意する

情報収集は、避難情報(左図)、気象情報など複数の手段で確認できるように準備しておきましょう。

STEP2
情報を集める